

青果物



長野県 ベストアップル輸出専門組合 『りんごをシンガポールへ』

【主な品目】

りんご

【主な輸出先国・地域】

シンガポール

【輸出取組の概要】

- ◆平成26年4月、輸出を目的にわい化栽培りんごで日本農業賞、天皇杯を受賞した松本市梓川地区の農家22軒で組合を立ち上げる。
- ◆同年、7月には長野県主催のシンガポール商談会に参加し、商談が成立。9月にサンつがる85ケースを初出荷。10月下旬に長野県オリジナルブランドであるサン秋映、サンシナスweetと共に当地特有の蜜入り完熟サン名月を輸出し、11月には現地フェアを実施。平成27年1月末までに蜜入りサンふじを含め合計1,400ケース余りを輸出した。商談会前にはJETRO長野で模擬商談を行い、商談の仕方やシンガポール市場についての説明を受けた。

【輸出実績】

| | 輸出額(千円) | 輸出量(t) | 出荷時期 |
|--------|---------|--------|-----------------|
| 平成26年度 | 4,256 | 13 | 平成26年9月～平成27年1月 |
| 平成25年度 | 0 | 0 | |

【取り組む際に生じた課題】

- ・完熟りんごの品質・食感の維持。
- ・海外市場ですでに認知されている青森産りんごとの差別化。
- ・長野産りんごの知名度向上。

【生じた課題への対応方法】

- ・完熟サン(無袋)りんごの輸出向けスマートフレッシュ処理(1-MCP処理)および冷蔵保管技術の導入。
- ・JETRO長野による貿易相談、模擬商談等の活用及び輸出業者、銀行による商談会の活用。
- ・現地輸入業者との綿密な事前打ち合わせ。
- ・長野県オリジナル品種の投入および現地渡航による積極的な商品説明。

【取組の効果】

- ・高品質なりんご輸出による、農家の生産意欲・技術の向上及び後継者の育成。
- ・スマートフレッシュ処理及び冷蔵保管技術導入による通年供給体制の確立。
- ・海外市場における長野産サン(無袋)りんごの知名度やブランドとしての価値向上。

【今後の展望】

- ・農家の生産意欲を高めるために、国内輸出業者並びに海外輸入業者と協力しながら自立的な輸出拡大を目指す。
- ・国内でりんご栽培のトップを維持することで、海外でもベストアップル輸出専門組合を世界一のブランドにする。
- ・平成27年度の取り組みとして、タイへの輸出も検討中。



輸出のために作られた専門組合



サン(無袋)りんご

【活用した施策・支援】 平成26年度JETRO長野による貿易相談、模擬商談会への参加

【ウェブサイト】 なし

【連絡先】 担当者名: 二村